

しかま支え合い情報誌



ふれあいは一と訪問

Vol.
20
2024.12.1

ふれあいは一と訪問事業は、町内に住む75歳以上のひとり暮らし世帯を対象とし、年に6回町内在住の協力員の方が訪問しています。

10月は加美農業高等学校の生徒のみなさんが育てたお花をプレゼントしました。



11月は加美農業高等学校とコラボレーションしたお弁当です。生徒のみなさんが献立を考え、「うめもんや」さんにご協力を頂き、特別弁当を作って頂きました。



試食会を開催し、生徒のみなさんからの意見を取り入れて頂きました。



モグモグ弁当



お弁当の献立を考えた加美農生と「うめもんや」さんのオーナーシェフ小川さん



ミニデイ

道 命



ニュースポーツ（ポッチャ、バグゴ）をして楽しみました。二つのチームに分かれて対戦し、チームが勝つとみなさん大喜びで盛り上がりました。（6月24日 道命集会所にて）



ミニデイ

大 原

町内で日本舞踊をしている、藤枝会様による踊りが披露され、華麗な踊りに参加者のみなさんはうっとりした表情で見えていました。（7月5日 大原集会所にて）



ミニデイ

下 黒 沢



レクリエーションゲーム（わなげ）を行いました。狙ったところに中々入らないこともありましたが、高得点を決めると、歓声が上がっていました。参加者のみなさんで点数を計算し、頭の体操にもなったようです。（7月8日 下黒沢集会所にて）

上高城

活き生き長生き教室



社会を明るくする運動として、詐欺の予防啓発に関する寸劇が行われ、ユーモアあふれるお芝居で大笑いのひとときでした。その後七夕会を行い、願い事が込められた七夕飾りを笹に飾りつけました。（7月9日 上高城集落センターにて）

伝八・除

活き生き長生き教室



運動指導員による体操が行われ、とても熱心に参加されていました。体操終了後に参加者のみなさんでお茶っこ会を行いました。参加者より漬け物の差し入れがありみなさんで頂くと、別の参加者が「おいしい！120点だ」と話すと、漬け物を作った方は「みんなに食べてもらって嬉しい」と笑顔で話していました。（9月4日 伝八集会所にて）

上郷

活き生き長生き教室



町レクリエーション協会のみなさんによる卓球バレーが行われ、白熱した試合となりました。その後お茶っこ会を行い、自家製の漬け物等をみなさんで頂きながら、楽しくお話されていました。（9月5日 上郷集会所にて）

活き生き長生き教室



宮城県レクリエーション協会の講師によるレクリエーションが行われました。歌いながらの体操やもの送りゲーム等をして楽しみ、参加者のみなさんは心と身体がリフレッシュできたようです。

体を動かした後にお茶っこ会をしました。おにぎりやお漬物、デザートなど手作りのお料理が並び楽しいランチ会のようになっていました。
(9月9日 平沢農業担い手センターにて)

ミニデイ



ニュースポーツのポッチャとバグーを行いました。バグーはお手玉を穴に入れるスポーツです。穴に入ると、「すごい！」と大盛り上がりです。公式ルール6メートルにチャレンジしましたが、なかなか穴に入らず、参加者より「またリベンジしたい」と話していました。

(10月10日 向町集会所にて)

色麻町生活支援コーディネーターから

地域での「お宝」(支え合い活動)をぜひ教えてください。

たとえば……〇〇さんの家でお茶っこのみしているよ

〇〇さんと一緒に歩け歩け(ウォーキング)しているよ

〇〇さんとラジオ体操しているよ などなど

これらは全て地域の「お宝」です。

こうしたお宝があることで、助け合いや支え合いの生活につながります。

ぜひ、情報をどしどしお寄せください。

お問合せ先：65-2260 生活支援コーディネーター黒田まで



発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL:0229-65-2260 FAX:0229-66-1713

E-mail: shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

ホームページアドレス

<https://shikama-sasaeai.com/>

地域の活動の様子を掲載しています！

QRコードで読み取り、ぜひアクセスしてください！



生活支援体制整備事業は、介護保険制度の地域支援事業の一つです。
しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。